

平成 28 年度 コミュニケーションセミナー開催報告

「第 136 回長崎大学FD コミュニケーションセミナー

～アクティブラーニングのヒントを学ぶ～

【日時】平成 28 年 6 月 23 日（木）13：00～15：30

【場所】総合教育研究棟 2 階 多目的ホール

【講師】鈴木有香 氏（早稲田大学紛争交渉研究所招聘研究員）

【開催内容】

ダイバーシティ推進センター広報・啓発推進部門では、①ダイバーシティの考え方の基本となる「相手と自分が異なること」を理解したうえで、創造的に、また、双方にとって「WIN-WIN」となる解決策につながるコミュニケーションを実践的に学び、個々人のコミュニケーション力を高めるとともに、②教員自らが体験的に学ぶことで自らの授業に活かせるアクティブラーニングのヒントを得、大学における教育および学内環境の改善に資することを目的とし、長崎大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）としてコミュニケーションセミナーを企画しました。

今回の講師は、上場企業や官公庁など全国各地で、ダイバーシティ・マネジメント、コンフリクト・マネジメント、リーダーシップ研修などを担当している早稲田大学紛争交渉研究所招聘研究員の鈴木有香講師

にお願いしました。鈴木講師は、昨年 11 月にも当部門主催の「ダイバーシティマネジメントのためのコミュニケーションセミナー」で講師を務めていただき、また、昨年 12 月までは当センターホームページ上において「コンフリクト・マネジメント」を主題に 8 回シリーズでコラムをご執筆いただきました。ワークを交えて講演いただきました。今回のセミナーは、学生 2 名を含む 31 名の参加がありました。

今回のセミナーの参加者には、クリッピングボードと鉛筆を配り、机を使わずに椅子のみをサークル状に並べる形式で、自由に着席いただきました。机と椅子の通常の配置ではないことから、参加者は会場に入った当初、やや戸惑いが見られましたが、セミナーが開始されると鈴木講師の世界に引き込まれていく様子が見られました。



鈴木講師はまず、このセミナー会場は実験室であるということを説明し、参加者は周囲の人と2~4名のグループを作りながら様々なワークを繰り返しながら、参加者自らアクティブラーニングを体験し、こうしたワークの意味やワークから生み出される雰囲気、学習に対する効果を実感することができました。初めて出会った4人組

で4人の共通点を1つでも多く見つけ出すワークは、お互いのプロフィール紹介という役割も担いつつアイスブレイキングになること、2人1組となって立ち上がり、相手の動作を鏡になったつもりで真似ていくワークと反対鏡のワーク（相手の動作の反対の「意味」を考えて動かなければならない）、Human Bingo のなかで本題を導入する方法等、参加者は実感しながら学ぶことができました。

途中に少し休憩を挟み、セミナーの後半は「日本調査団」と「バルーンバ人」との2つのグループに分かれ、「バルーンバ文化を探れ」という全体ワークとなりました。バルーンバ人にはその文化として「メガネの人は位が高いので、メガネでない人はメガネの人と目を合わせてはいけない」、また、質問内容に対しても「調査員が笑顔なら YES と答え、笑顔がないなら NO と答える」というものを持っていた。知らされていない調査団側は、メガネの調査員がいくら質問をしても答えてもらえない、同じ質問にも YES であったり NO であったりと調査団側が翻弄された。その後、調査団側、バルーンバ人側双方が、感想を共有し、相手にとっては当然のこと（文化・考え方等）も知らない・理解していない側にとっては失礼に当たること、また、そうした「共通認識があるだろう」という思い込みを崩すことの難しさを体感しました。最後に、様々なワークを通しての感想や効果、授業等への応用等を参加者同士で意見し、共有する学びの時間となりました。

参加者アンケートでも、全員が、大変良かった・良かったという感想であり、自由回答欄においても、今回のアクティブラーニングの学びが有益であったこと、授業への応用を実践的に学ぶことができたとの感想が多く、参加者にとって今後の教育活動に資するものであったと考えます。



【アンケート結果概要】 アンケート回収 (30 枚)

➤ セミナーの内容について

大変よかった (80%)、良かった (20%)

【自由記述】 授業のヒントが色々と学ぶことができた／コミュニケーションやアクティブラーニングなどを授業に取り入れたいと思っていたので、大変勉強になりました／インタビューを実際に自分がすることで大変心が動かされました／色々な気づきがありました、ぜひ今後役に立てたい／具体的な例や実際体験することで、楽しみながらアクティブラーニングの基本を学びました／講義で活躍できそうな手法を学びました、楽しみながらファシリテートスキルと元気をももらった／ほか…

➤ 今後学びたい事やテーマについて

- ・ 専門分野別のアクティブラーニング
- ・ 今回同様に、授業に直結できるようなテーマ
- ・ コミュニケーション
- ・ 教員と職員の協働の事例 (他大学・私立など)
- ・ 日頃の講義や教育に生かせそうなもの
- ・ 発達障がいを持つ (もしくは、傾向のある) 学生をどう育て、社会に送り出すか
- ・ マネジメント
- ・ 立場や意見が異なるグループワークライフバランスでの意見の出し方、まとめ方

